

事業計画書

自 2017年 4月 1日

至 2018年 3月31日

一般財団法人 尾崎行雄記念財団

1) 月刊『世界と議会』の刊行(No.576～578)

尾崎行雄、議会政治、世界情勢に関する記事を掲載。また、尾崎行雄の理念普及に努める個人・団体の取り組みを広く紹介。(春号・夏号・秋冬合併号)

2)「号堂塾」の開催

助成(予定):(公財)原田積善会 協賛(予定):タカラベルモント(株)／(株)ニフコ
期間:2017年5月～18年2月(10ヶ月間:16回講義)※引き続きオンライン講座を実施。

3)「講演会」の開催

一般及び会員を対象とした講演会(他団体との共催含む)を年5回～6回開催。その他、都内及び地方での出張講演を3回程度開催。テーマは主に、尾崎行雄と立憲主義・民主主義、日本の議会・政党・選挙、また、世界情勢ならびに日本の外交・安全保障・憲法、さらに政治と科学、国際交流問題等を予定。

4)「政経懇話会」の開催

国会議員や専門家などを招いて年度4～5回開催。対象は特別会員及び一般。

5)記念イベントの開催(引き続き団体・企業への協賛等を依頼予定)

昨年(2016年)、当財団設立60周年を迎え記念事業を開催。本年もその記念事業の一環として、記念シンポジウムならびに、尾崎行雄の「桜とハナミズキ」に因んだイベントを予定。

①記念シンポジウム(2017年7月22日(土)午後2時～5時予定)

■会場:憲政記念館 会議室

■テーマ:「激動する世界情勢と日本の未来 —我が国の安全保障・国際貢献のこれから」

■パネリスト:小川和久(国際政治・軍事アナリスト)、伊勢崎賢治(東京外国語大学教授)
伊藤祐靖氏(元海上自衛官)、コーディネーター:桜林美佐(ジャーナリスト)

②「尾崎行雄・桜とハナミズキの集い」(仮称)

■目的:尾崎の桜と返礼ハナミズキの歴史を振り返りつつ、草の根レベルでの日米友好と国際交流・国際理解を促進すること。

■内容:関連団体(尾崎顕彰団体・学校等)の取り組みや駐日米国大使館の取り組みを、会員および一般に広く紹介するとともに、参加者の交流を通じて友好を育む。

■時期:10月(於憲政記念館)を予定

6)ソーシャルメディア活用による広報の強化(ホームページ及びフェイスブック等)

7)尾崎や議会政治に関する資料の収集／憲政記念館及び関連団体との連携・協力

8)財源については、ファンドレイズの可能性を探るとともに寄付・入会依頼などを積極的に行なう。

9)会議の開催

・定款に則った理事会および評議員会、また必要に応じて随時会議を開催する。